

## 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 3 回 臨時委員会
日時	平成21年 2月16日 自 16時30分 至 18時07分
場所	苫小牧市役所第2庁舎 1階会議室
出席委員	委員長 吉本 俊憲 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 山田 眞久
欠席委員	
会議録署名委員	鈴木 正樹 委員
会議録作成職員	総務課総務係主事 平田 拓也
事務局職員	学校教育部長 澤田石 綱 紀 スポーツ生涯学習部長 今 田 和 史 学校教育部次長 福 田 小夜子 総務課副主幹 池 渕 雅 宏 総務課総務係主事 平 田 拓 也
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …16時30分
2	会議録署名委員の指名（鈴木委員）
3	議案審議
	議案第一号 平成21年度教育行政執行方針について
	（教 育 長）
	・平成21年度教育行政執行方針について、学校教育の充実と社会教育の充実に関する分野に分けて両部長から説明を行う。
	（学校教育部長）
	・平成21年度教育行政執行方針の学校教育の充実に関する部分について、説明させていただきます。（以降、議案第一号資料を読み上げ）以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
	（吉本委員長）各委員より本案に対してご意見を伺いたい。
	（佐藤守委員）4ページ中段に特別支援学校とあるが、高等養護学校ではなく特別支援学校と表記したのはなぜか。
	（教 育 長）高等教育まで含むと範囲が広がってしまう。本市に今一番求められているのは、義務教育の部分であるため、限定した表記にしている。
	（佐藤守委員）同じく4ページの下段に学校評価の実施とあるが、小学校のことか幼稚園のことか。
	（学校教育部長）幼稚園のことである。文部科学省の学習指導要領が改正され、幼稚園も学校評価をした方が良いとされているため、公立幼稚園について評価を実施するというもの。

(佐藤守委員) 8 ページ中段の学校地域支援本部事業について、学校教育と社会教育
が一体となって進めていくという観点から、生涯学習で勉強した方々
が、勉強したことを生かせるような場面をこの事業で作ってはどうか。
(教 育 長) 社会教育にも関連してくる部分なので、後ほど回答させていただく。
(佐藤郁委員) 4 ページ中段の教育支援員の増員について、具体的な人数の表記はし
ないのか。
(学校教育部長) 予算案に基づいての執行方針であり今後検討していかなければならな
い課題もあるため、具体的な数字を示していない。
(鈴木 委員) 昨年と比べて具体的に踏み込んでいる内容になっており、また、非常
にわかりやすくなっており、評価できる内容であると思う。
(教 育 長) 先ほどの地域支援本部事業について補足させていただくが、学校地域
支援本部事業は、学校を長期にわたって援助し地域で支えていくとい
うものだが、国の事業で無報酬である。これが広まって効果が出れば、
国ももっと資金援助をして対象の地域を増やしていくと思う。人材の
問題があるが、どうにか道筋をつけていきたいと思っている。
(スポーツ生涯学習部長)
・次に、平成21年度教育行政執行方針の社会教育の充実に関する部分について、説
明させていただく。(以降、議案第一号資料を読み上げ)以上の内容について審議の上、
承認いただきたい。
(佐藤郁委員) 朝鮮大学の学生の駒澤大学での聴講カリキュラムの分野は決められて
いるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 一部の分野で学生各自が自主的に聴講しており、非常に好評である。
(吉本委員長) 全日本大学アイスホッケー選手権大会は継続予定なのか。
(スポーツ生涯学習部長) 予算は大学側で出しており、実行委員会では受け入れ体制を整えてい

る。大学側は今後も苫小牧で継続して行いたいという意向を示している。
る。
(佐藤郁委員) 長靴アイスホッケーが人気のようなのだが、苫小牧でそのような話題はあるか。
(スポーツ生涯学習部長) スケート祭りでもホーキングホッケーは人気がある。事業としては、その1回程度。スティックを使ったものはない。
(吉本委員長) 冬期間体を動かすことが出来ない子供達にとって、スポーツと関わる良い方法だと思う。
(鈴木 委員) 総合型地域スポーツクラブを平成21年度に設立したいとのことだが、内容などは具体化しているのか。
(スポーツ生涯学習部長) 文部科学省と北海道体育協会の間で準備会が開かれ、具体化されてきている。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、このような形で平成21年度の教育行政執行方針について承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第二号 平成20年度教育費補正予算について
(学校教育部長)
・学校教育部関連の平成20年度教育費補正予算について、説明させていただく。内容については、最終整理補正となる。(以降、議案第二号資料を読み上げ)
(スポーツ生涯学習部長)
・続いて、スポーツ生涯学習部関連の平成20年度教育費補正予算について、説明さ

せていただく。(以降、議案第二号資料を読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(教 育 長) ナショナルトレセン事業は予算残がかなりあるが、文部科学省の予算は残っても他の事業には使えないことになっている。
(スポーツ生涯学習部長) 市が委託を受けて代わりに支出しているため、修繕や備品の購入ができないなど制約がある。
(鈴木 委員) 本補正予算と直接関係はないが、地方から来る選手がサイクリングターミナルを利用する際の食事について、トレーニングの時期と試合の時期で食事の内容を変えらるともっとコストダウンできる可能性があるのではないか。
(スポーツ生涯学習部長) 指定管理者と相談してみたい。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、平成20年度教育費補正予算について承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第三号 平成21年度教育費予算について
(学校教育部長)
・平成21年度教育費予算案について、学校教育部関連部分について説明させていただきます。(以降、議案第三号資料から臨時事業費を中心に読み上げ)
(スポーツ生涯学習部長)
・次に、平成21年度教育費予算について、スポーツ生涯学習部関連部分について説

明させていただきます。(以降、議案第三号資料から臨時事業費を中心に読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(佐藤郁委員) 図書館の蔵書整備費について、新聞で書籍紛失や盗難があると報道されていたが、これは消耗品扱いになるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 一定額以下は消耗品の扱いとしている。
(佐藤郁委員) 盗難の対策は考えているか。
(スポーツ生涯学習部長) 借りたまま返さない場合は連絡を取っているが、黙って持っていかれるとわからない。マナーに訴えるしかなく、盗難についてはセンサーを付ける等の対応をしなければならないと感じているが、高額な費用がかかるので難しい。
(佐藤郁委員) 大学ではセンサーを付けており、非常に効果的であるが、まず本は財産であることを理解してもらうことが大切だと思う。学生からの学費からまかなっているという観点で対策委員会を立ち上げて議論したところ、紛失がゼロになった。まずは真剣に議論することが必要。次に文化会館の陶芸の釜の更新について、これはレンタルか購入か。
(スポーツ生涯学習部長) 2回目の更新であり、購入となる。
(佐藤守委員) 中学校教育用コンピューター整備について、本予算ですべての学校が更新となるのか。
(学校教育部長) 19年度に長期継続契約によってすべての学校の更新整備が終了しており、その年間のリース料を計上しているもの。
(佐藤守委員) 学校開放事業推進経費について、今後、使用料を徴収するという話があったと思うが、その点については、含まれているのか。
(スポーツ生涯学習部長) 平成23年度に使用料等の全庁的な見直しがあり、それに向けて検討中である。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、平成21年度教育費予算について承認してよろ

